

平成 29 年大磯町議会

9 月定例会一般質問（9 月 11 日・12 日）

質問議員	質 問 事 項（ 1 日 目 ）	答 弁 者
1 10 番 坂田よう子議員 （ 75 分） 9:05～10:20	1. 明治 150 年関連施策に対する本町の方針について 来年、平成 30 年は明治元年から起算し 150 年の年に当たり、国は「明治 150 年」に向けた関連施策を推進している。殊に、近代国家建設に向けた取り組みの中で、立憲政治の確立は重要な事柄と認識され、明治期の立憲政治の確立等に貢献した先人の業績等を次世代に遺す取り組みを検討してきた。中間とりまとめに当たり、国土交通省は明治期の立憲政治の確立等に関する歴史的遺産の保存・活用のための「明治記念大磯邸園（仮称）」の整備を施策に挙げ、旧伊藤博文邸等を中心とする建物群等の一体的、有機的な活用を図るとした。 本町は、歴史的・文化的な資源の保存・活用、邸園文化圏などへの取り組みの実現に向け、長年にわたり模索してきた。この機会をいかに捉え行動していくか、町の方針を問う。 2. 人口ビジョン・総合戦略に関する実績と展望について 町は、人口減少や少子高齢化による人口の年齢構成の変化に伴う地域活力の減退等を回避するため、将来人口の目標を示す「人口ビジョン」を設定し、その達成に向け取り組む事業を位置づける「総合戦略」を平成 27 年度に策定した。 平成 29 年度は 5 カ年計画の折り返しの年となるが、これまでの実績をいかに分析し、今後のまちづくりを進めるか、町の所信を問う。 3. 障がい者福祉計画の改正について やまゆり園の悲惨な事件から 1 年が経過し、神奈川県全体の障がい者福祉に携わる人々は「ともに生きる」を心情とし、意を尽くしている。くしくも、町では、現在「障がい者福祉計画」の改正が進められている。障がい児を育てる家族からの声は改正に向け届いているか、町の所信を問う。 （1）放課後等デイサービス支給決定日数の増加と支給条件の緩和について。 （2）登下校時の付き添い等、送迎サービスの拡充について。	町 長 町 長 町 長

2 9 番 二宮加寿子議員 (65 分) 10:40～11:45	1. 女性の視点を生かす防災対策を問う 9 月 1 日は防災の日で 8 月 30 日から 9 月 5 日まで防災週間となっているが。 (1) 防災会議の委員の中に女性の登用が少ないと聞くが考えと対策は。 (2) 子どもや高齢者、社会的弱者の視点を生かせば、防災力の向上や減災とする事が考えられるがいかがか。 (3) 男女共同参画の視点から女性リーダーの養成講座を開催し対応できる体制整備が大事と思うがいかがか。 2. 子育てや介護しやすい町の充実と対策を問う 女性活躍加速のための重点方針 2017 の中で女性活躍を促す保育士の待遇改善や育児と介護の「ダブルケア」等で介護離職等を防止するために伺う。 (1) 産前産後ケアのサポートとして保健師、助産師、看護師の体制やヘルパー事業は充実しているか。 (2) アレルギーを持つ子どもへの対策の充実はどのようなか。 (3) 子育てと介護、働きやすい支援の充実を望む声を聞くがその対策はいかがか。 (4) 介護人材の処遇改善や保育士の処遇改善の考えは。	町 長 町 長 教育長
3 1 番 竹内恵美子議員 (60 分) 13:00～14:00	1. 大磯町生沢「東の池」の蓮の花について (1) 蓮の花が咲かない原因は把握しているのか。 (2) 咲かせるための方策は考えているか。 (3) 観光に生かすために何が必要と考えるか。 2. 高齢者に人気のグラウンドゴルフの推進について (1) 高齢者を中心に人気のあるグラウンドゴルフを「大磯町高齢者福祉計画」に位置付けることができるか。 (2) 運動公園までの交通手段（輸送手段）は確保できるか。 (3) 今後、コミュニティバスの活用は考えられるか。	町 長 町 長
4 15 番 柴崎 茂議員 (90 分) 14:20～15:50	1. 藤家前教育長と事務引き継ぎを行ったか 6 月定例会の一般質問で前教育長との引き継ぎはしていないとのことであったがどうなったか。 2. 中崎町政は整合性がとれているか 平成 22 年 12 月に町長に就任して以来、すでにこの 12 月で 7 年が過ぎる。中崎町長が目標とした 1 期目 4 年、2 期目 3 年で行った支出は町民にとって満足のいくものとなっているか。整合性があるかを問う。	町 長 教育長 町 長 教育長

5 8 番 奥津 勝子議員 (50 分) 16:10～17:00	1. 農地の活用について 中高年の方たちが耕作放棄地を活用し、市民農園として利用している。 野菜や草花を作られているが、農地の保全も図り、健康増進のためにも 良い制度である。 (1) 町の市民農園と県の農園の利用状況の現状は。 (2) 市民農園の管理は適正か。 (3) 現在7カ所の農園だが、今後の見通しは。 (4) 利用者からの要望と課題は。 (5) 災害時、防災農地としての指定は。	町 長
---	---	------------

質問議員	質 問 事 項 (2 日 目)	答 弁 者
6 3 番 吉川 重雄議員 (90 分) 9:00～10:30	1. 中学校給食の現状と問題を問う 中学校給食の実現は、町長の公約であり、保護者の要望でもあった。 平成 28 年 1 月より実施された中学校給食は 1 年半が経過した中で、主食・副食（おかず）ともに 3 割から 5 割以上も残されているという異常ともいえる実態が続いている。今、育ち盛りの中学生の多くがこの給食を食べていない現状を町長はどう捉えているのか。私は、この異常ともいえる現状を看過することのできない問題と捉えている。早急に躊躇することなく、改善すべき具体策を示すべきである。町長の見解を求める。 2. 危機的な運営の「恒道会」問題とは。また、その再建は可能かを問う 以前より「恒道会」の運営にはさまざまな問題があり、そのたびに利用者やその家族、職員に対しても心配や不安を与え続けてきた。 この問題について、機会があるごとに、町に対して「法人の運営が正しく行われているのか」を問うてきた。 しかし、町の返答はいつも「法令に照らして問題はありません」「理事長に会って正しい運営をするように伝えております」との答弁が繰り返されてきた。町は今でも「恒道会」の運営は問題ないと言い切ることができるか。 本年 7 月に「恒道会」の運営が危機的な状況に陥っている情報を得た。町は、現在どのような問題を把握しているのか。また、「恒道会」の再建に当たり、どのような対応をしていくのか町長の見解を問う。	町 長 教育長 町 長

7 11 番 玉虫志保実議員 (70 分) 10:50~12:00	1. 大磯駅前用地の利活用について 大磯駅前用地の利活用は、平成 29 年度以降は、大磯駅周辺安全・安心にぎわい創出事業に組み入れられたと考えられる。そこで、下記について問う。 (1) 大磯町総合計画実施計画事業調書の平成 29 年度の事業費の積算根拠の欄に書かれている「その他用地の暫定工事」は、今年度のいつまでに行うのか。 (2) その工事は、にぎわい創出の場とするための必要最小限の整備のことなのか。具体的にどのような整備を行うのか。 (3) 今年度の暫定工事は大磯駅前用地利活用検討委員会からの答申の中での「土地利用のゾーニング」の中で、「ゾーニングにおける土地利用の方向性」とあり、「その他利用」地区については、当面の間“大磯港と相模湾を眺望する開けた展望緑地”として、広場的な整備・維持をした上で時間をかけ皆で考えるための整備なのか。 (4) 駅前用地の利活用を進めるには、大磯駅前用地利活用検討委員会から提出の答申と、大磯町自治基本条例町民委員会が提出の答申の 2 つの答申を踏まえて進める必要があると考えるが、町はこれらの答申をどのように生かして駅前の整備を進めていく考えか。 (5) 「その他利用」地区と東駐輪場跡地の現在の状況等から、町が考える「町民はもとより観光客から親しまれる土地利用について」を伺う。 2. 大磯町が考える「中学生」とは 中学校給食等から読み取れる、大磯町の中学生への対応には良い意味で一貫するものがあると感じることができない。そこで、下記について問う。 (1) 現在実施されているデリバリー方式の中学校給食は、本当は誰のためのものなのか。 (2) 現在の給食形態は大磯町から中学生への「いじめ」ではないか。 (3) 幼・小・中の引き取り訓練が毎年 6 月に行われているが、実際に災害が発生したときの中学生の役割はどのように考えるのか。	町 長 町 長 教育長
--	---	-------------------------------

8 13 番 渡辺 順子議員 (90 分) 13:00～14:30	1. 大磯町公共施設等総合管理計画の進め方について 今年 3 月に策定された「大磯町公共施設等総合管理計画」は人口減少、少子高齢化、財源不足など社会の変化に対応するため、長期的な視点に立ち今後 30 年間で町内の公共施設の延床面積を 15%削減、インフラ施設は長寿命化によってライフサイクルコストの縮減を図るとしている。町民生活に大きな影響を与える事業であるがどのように進めるのか。 (1) 計画のスケジュール。 (2) 課題の抽出と対応。 (3) 議会の関わり。 (4) 第 3 回大磯町自治基本条例町民委員会から出された検討課題について。 2. まちづくりについて 8 月 10 日に新たな構成になった総務建設常任委員会協議会が開催され、大磯港みなとオアシス事業と大磯駅周辺安全・安心にぎわい創出事業について説明があった。提出された資料に基づき以下の点について質問する。 (1) 大磯港みなとオアシスについて。 平成 29 年 5 月 9 日の総務建設常任委員会や 6 月定例会一般質問で議員から出た意見や質問について町はどのように回答し、検討したのか。 (2) 大磯駅周辺安全・安心にぎわい創出事業の進め方について。 ①町の個別の「計画等」との整合、統合をどのように図るのか。 ②自治基本条例に基づく住民参加になっているか。 3. 福祉について (1) 6 月議会に提出された、「障害者福祉充実のため、生産品の販売コーナーの設置と有益な公的調達を求める請願」は議会で否決されたが、町はその後どのように受け止め、検討したのか。 (2) 大磯恒道会では職員給与の遅配、地代の未払い、職員の退職が続いていると聞いている。また、平成 27 年度決算や理事会名簿が未だに公表されていない。町は現状を把握し適切な対応をしているか。 (3) 町が提訴した、「かたつむりの家」の障害福祉センターからの退去は現在どのような状況であるか。	町 長 町 長 町 長
--	---	----------------------------------

9 12 番 鈴木 京子議員 (90 分) 14:50～16:20	1. 恒道会の運営は継続されるか 社会福祉法人恒道会の運営は改善の見通しが立たない状況と危惧する。町の認識と取り組み、介護保険等の第7期計画との関係を問う。 2. 国民健康保険の広域化による町の影響は 来年度から始まる国保制度の都道府県化による加入者と保険者への影響は。また、課題と対策を問う。 3. 職員の職場環境改善は進んでいるか 新年度になっても中途退職者が後を絶たない。職員構成はどう変化しているか。町は職員アンケートを行う予定だが、職員の本音を生かし改善につなげる最後のチャンスと考える。どのように行うのかを問う。 4. 町長の公務の透明性は確保されているか 町長の動向、公用車の運転日報、職員の旅行命令簿を突合すると、町長の公務内容に疑問が生じる。下記の点について問う。 (1) 単独で自由民主党や政府関係者、企業トップと会う理由は。 (2) 「明治150年」関連施策決定に至る公務の内容は。 (3) 平成28年度11月6日、12月20日、2月17日、2月23日、3月8日の公務の内容は。	町 長 町 長 町 長 町 長
---	--	---

9 名 21 問

時間は、事情により変更になる場合がありますのでご了承ください。